



発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第415号

からしだねの由来 マタイ13章31節、マルコ4章30節、ルカ13章18節
ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

2022年11月27日より実施される
ミサ式次第の変更箇所について(第5回)

『新しい「ミサ式次第と第一～第四奉献文の変更箇所」カトリック中央協議会 p51～

＜聖別のことばに続く記念唱＞(続き)

●司式司祭：「世界に広がるあなたの教会を思い起こし、教皇〇〇〇〇、わたしたちの司教〇〇〇〇、すべての奉仕者とともに、あなたの民を真の愛で満たして下さい。」(p.51)

※ミサを捧げる地域が所属する教区司教の名前を言うこととなりますが、補佐司教の名前も加えることができます。この言葉に続いて、死者のためのミサの場合は次の祈りを加えることができます。

●司式司祭：「この世からあなたのもとに召された〇〇〇〇を心に留めてください。洗礼によってキリストの死に結ばれた者が、その復活にも結ばれますように。」(p.51)

※これまで洗礼を受けて亡くなった方と、洗礼を受けずに亡くなった方とは区別をせずに名前を挙げて祈っていましたが、この部分では洗礼を受けた方のみの名前を挙げるようになります。なお、洗礼を受けていない方の名前は、これに続く「また、復活の…」の部分で挙げるようになりました。

＜交わりの儀＞(p.67～)

※「主の祈り」から交わりの儀に入りますが、「主の祈り」に続いて「副文」が唱えられるため、「主の祈り」の最後の「アーメン」は唱えません。「副文」の終わりに司祭は広げている手を合わせ、会衆が応えます。

会衆：「国と力と栄光は、永遠にあなたのもの。」(p.68)

＜教会に平和を願う祈り＞(p.68)

●司式司祭：「主イエス・キリスト……一致をお与えください。(司祭は手を合わせ) あなたはまことのいのち、すべてを導かれる神、世々とこしえに。」

会衆：「アーメン。」

旅の話(10).....	3面
侍者だより.....	4面
幼稚園から.....	5面
委員会等報告.....	6・7面
炊き出し.....	7・8面
お知らせ.....	8面

※<教会に平和を願う祈り>は分裂してしまっている教会の平和と一致を願う内容となっています。下線部の部分は現行版では訳されていなかった言葉なので、“アーメン”を言うタイミングには注意が必要。

<平和のあいさつ>

- 司式司祭：「主の平和がいつも皆さんとともに。」 会衆：「またあなたとともに。」
(p.69)

<平和の賛歌>

- 「世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。世の罪を取り除く神の小羊、平和をわたしたちに。」
(p.69)

※真の平和は神と人類、人類と人類との和解に基づきます。それはキリストの十字架上の犠牲によって成し遂げられました。旧約時代、イスラエルの民をエジプトにおける“死”の状態から救うために犠牲となった小羊は自らの命を捧げることによって民を救いました。キリストはまさにこの過越の小羊として、罪を取り除くため＝死から解放して平和をもたらすためにご自分の命を捧げて下さるので、そのことを讃えて「神の小羊」と歌うのです(唱えるのです)

<拝領前の信仰告白> (p.70)

- 司式司祭：「世の罪を取り除く神の小羊。神の小羊の食卓に招かれた人は幸い。」
会衆：「主よ、わたしはあなたをお迎えするにふさわしい者ではありません。おことばをいただくだけで救われます。」

※司式司祭の言葉として「世の罪を取り除く神の小羊」が加えられました。現行版にはなかったため、規範版から訳された言葉です。会衆の応答句は、これまでヨハネ 6・68 のペトコの信仰告白文が用いられてきましたが、規範版にはマタイ 8・8 にある百人隊長の信仰告白文があり、日本の教会の適応として、今後はいずれかを用いるように指示されています。

<閉祭> (p.72)

- 司式司祭：「感謝の祭儀を終わります。行きましょう、主の平和のうちに。」
会衆：「神に感謝。」

※入堂の時と同じように、司祭と助祭は祭壇の表敬を行います。つまり、両手で祭壇に触れながら深く礼をし、聖櫃が内陣にある場合、祭壇への表敬のあとで聖櫃の前で手を合わせて深く礼をします。それから祭壇の正面まで行き、奉仕者とともに深く礼をして香部屋へ戻ります。

いよいよ今月末から始まる待降節のミサで、新しいことばでミサを行うこととなります。ミサ自体の意味が変わることではないので、新しい表現を用いながら、もっとミサを身近なものにすることができるよう、司祭も信徒も意識をしながら過ごしてまいりましょう。

旅の話 (10)

岩本光弘

30年から外国籍の人たちのお世話をさせてもらっていますが、その関係で旅をすることもあります。その中で一年近く各地へ行った話を書きます。

2009年に法務省は入国管理法と外国人住基法を改定することになりました。法令はこの年に決まりましたが、施行は3年の猶予を経て2012年7月12日からとなりました。この改定の時、技能実習生制度については2010年から施行されました。この時の制度は今も変わっていませんが、研修期間が事実上なくなることで技能実習生がかなり救われました。

改定された外国人住基法はかなりの改定でした。詳しくは触れませんが、それまでは外国人登録が各地の市町村だったのが、国への登録となり各地の入国管理局で登録が行われ、日本に滞在する外国人全員に在留カードが発行されることになりました。

この住基法では細かい内容があり、法令の遵守が求められ罰則が強化されることになりました。そのため内容が分からない外国人たちに厳しい罰則が科されることが予想されました。

カトリック中央協議会の難民移住移動者委員会は、カトリック信者の外国人に被害が出ないように各地での勉強会の開催を施行される前年の2011年に計画しました。そこで名古屋より北を東京の人に頼み、中国・四国地方から西の講師を私に頼んできました。

私はこの法令の内容を詳しく知りませんでしたが、概要の問題点は理解していましたので受けることになり、施行される2012年7月までに各地を回りました。勉強会は外国人向けにするのですが、基本的には日本語で行い、参加者の状態では通訳を入れることになり、ほとんど日本語で話をしましたが、問題はありませんでした。

最初に四国に行ったときは、高松教区のカテドラルの桜町教会で土曜日の昼から行い、その後高松教区の担当司祭の車で高知へ行きました。夜に中村市に着き宿に入りました。翌日朝から中村教会のミサに行き、ミサの後に勉強会をしました。この時のミサに日本人はわずかほとんどが外国人でした。この人たちは高知県の西部地域に定住している人ばかりでした。主任司祭はミサに出てきませんでしたが、のちに水巻教会に来たマヘル神父でした。

中村が終わってから高知市の中の島教会に移動しました。ここで午後の英語ミサの後に勉強会をしました。いろいろな質問が続出して遅くなり高知に泊まり翌日の飛行機で帰りました。後日に行った松山教会は日帰りでしたが福岡から飛行機で往復しました。

広島教区では、下関の細江教会、山口教会、尾道教会、福山教会に行きました。広島教区は協同司牧がされていて尾道地区には3人の司祭と神学生がいました。ここには津和野への旅と一緒にしている野中神父が居ました。尾道教会に泊まるように言われていましたが、夜は尾道教会で共同生活をしているアフリカ人の神父と神学生も一緒に食事に出掛けました。野中神父はブラジルに10年行っていましたので、アフリカとブラジルの話で楽しい時間を過ごしました。夜は教会に泊まり翌日は水島教会で学習会をしました。

侍者だより

憧れ

パウロ濱村 誠治

コロナ禍も緩和され、水巻教会の御ミサも元の合同ミサに戻り、最近侍者は、樽角兄妹二人がメインで頑張ってもらっています。信徒席から御ミサに与って、侍者をしている仲間たちを見るとある一つの童話を思い出します。

私が小学生のころ読んだ物語で、当時は「ツバメと王子」という題だと思っていたのですが、調べてみると「幸福の王子」が正式な題名でした。

ご存知の方も多いと思うのですが、その物語は町の中心部に高くそびえ立つ金箔と宝石をまとった美しい王子像と、冬が来るので南へ向かって渡って行こうとするツバメの物語です。一羽のツバメが仲間と一緒に南に向け飛んでいたのですが、ちょっと疲れて王子の足元で一休みすることにしました。そしたら上の方から一粒の水が落ちてきました。ツバメが見上げると王子が涙を流していました。そして王子が言いました。「ツバメさん、僕は町の中にたくさんの貧しい人々がいるのを見てとても悲しい。僕は動けないので代わりに僕の宝石をとって、貧しい人のところへ運んでおくれ」

ツバメはしびしび王子の頼みを聞き入れました。ツバメが帰ってくると「もう片方の宝石も同じように貧しい人に運んでくれ」と頼むのです。これも仕方なく応じました。帰って「お役御免」と南へ向け旅立とうとしました。すると王子は「金箔をはいで持って行け」と頼むのです。王子のやさしい気持ちにひかれ、最後には南へ向かう時期も忘れてせっせと貧しい人に金箔を配りました。やがて王子の像は醜く変貌、足元にはツバメが死んでいました。

この物語を読み進めていくうちに、目から鼻から涙がとめどなくあふれてきました。

その頃私は「日曜日は学校の友達と楽しく遊びたい」「教会に行かんとお父さん、お母さんに怒られる」の思いだけで教会に行っていたのですが、この物語を読んですごくツバメに憧れ、「教会に行けば侍者をして神父様を助けることができる。そしたらツバメになれるやん」と思い、教会での侍者の順番が来た時にはとても嬉しかったのを思い出します。

そして今、教会を見渡すと、たくさんのツバメがそれぞれの与えられたタレントを胸に抱いて集っているではないですか!私はとても方向音痴なのですが、こうして主のもとに集い、また翼を広げて飛び立つ信徒の姿を見て違ってもまた元に戻ることができて感謝しています。

さいごに、この物語で神様が天使に向かって「この町で一番美しいものを持って来なさい」とお命じになりました。その天使は汚くなった王子像の心臓とツバメの死骸をゴミ箱から取り出し持ち帰りました。神様にそれを差し出すと、神様は微笑んで、たいそう喜ばれました。

おしまい



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 11月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

先日は第60回大運動会が開催されました。今までの練習の成果を、十分に発揮している子どもたちに、成長を感じる一日でした。年長児は最後の運動会となり、自分で選んだ種目に責任感を持ち、取り組むことができました。クラス対抗リレーでは、クラスのお友達と協力し、どうすれば1位になることができるか話し合いました。本番は最後まで諦めず、バトンを繋ぐことができました。



交通安全教室では、信号機の役割や、命を守るためのお約束を、折尾警察署の方にお話していただきました。横断歩道の渡り方では、車が来ていないことを確認することや、渡る前に止まることを実践しました。お約束を守って楽しく過ごしてほしいです。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559

e-mail : ContactUs@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉



急速に、夏が遠ざかって行くのを感じるこの頃です。収穫の秋になりました！先に収穫した栗は、イガイガが付いたまま、マリア子どもの家の室内や水巻聖母幼稚園の廊下に飾られています。柿は、台風の大風にも負けずに残ったのが、3個でした。去年の12個の柿より二回りくらい大きいでしょうか！夏の猛暑で、さつま芋の育ちが気になります。お芋掘りは、来週の予定です。

朝一番の、毎日の「畑と庭の活動」で、子ども達と一緒に、スイカのツルを片付けた後の畑に、苦土石灰と化成肥料を入れ、耕しておきました。そこに畝を作り、窪みを作って、大根の小さな種を、順番に4粒ずつ蒔きました。寒さを糧として、春には大きな大根になーれ！また、今週は、スナップエンドウと菜の花・矢車草も植える予定です。



TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同

委員会等報告

2022年10月分

10月度小教区委員会 10月2日

1. 行事予定

- ・11月 1日(火) 諸聖人 9時半～ミサ
- ・11月 2日(水 死者の日) 9時半～ミサ
- ・11月 3日(木) 神学院祭 2022
(福岡カトリック神学院にて)。
- ・11月 6日(日) 小教区委員会
- ・11月 13日(日) 新しいミサの式次第の
ための研修会④(教会学校を兼ね
る)、聖書の分かち合い。
18時～ベトナム語ミサ
- ・11月 20日(日) ミサ後～馬小屋、Xmas
イルミネーション等の設置
- ・11月 27日(日) 新しいミサ式次第へ移行
こころの会(教会学校を兼ねる)

2. 議題

(1) 各委員会報告

①広報委員会

- ・写真データを印刷するための用紙を購入
したい。10月29日(土)に幼稚園のバザー
があるが、保護者会とのやり取り(写真や資
料の提供等)は役員会に一任。

②典礼委員会

- ・待降節からの新しいミサ式次第への移行
に合わせ、10/23(日)15時から典礼委員
会を開く。

③営繕委員会

- ・10月5日(水)、トイレ窓の壁面に新しい
掲示板を設置する。また、10月16日(日)
のミサ後に大掃除をし、ワックスがけも
行う。多数の方の協力をお願いしたい。

- ・鐘を鳴らす方法を改善する。

④冠婚葬祭の会

- ・冠婚葬祭のための司会者やオルガン奏者
を募るための呼びかけをし、会のメンバー
名簿を作成したい。

⑤総務

- ・敬老のお祝いのために準備して余ったク
ッキーはふれあい会にて活用していただ
くようにする。
- ・10月14日(金)、「抱樸」支援のための炊
き出しを行う。

(2) 地区集会での議題について

- ・2023年の1月～3月にかけて開催する
こととなった地区集会だが、議題というよ
りは課題として、次のことを解決していく
必要があるとの意見が出た。「高齢者が目
立ってきているため、今後、集まることも
難しくなるのではないか」。また、「役員、
地区委員、各委員会の委員長などの改選
についても見直す必要があるのではない
か」。

- ・現在の『水巻小教区委員会規約』は2007
年1月14日に改訂されたものなので、こ
れを11月の小教区委員会において確認し、
文言、内容などを見直すこととする。

(3) 幼稚園のバザーへの協力について

- ・水巻聖母幼稚園の保護者会より、10月29
日(土)に幼稚園でのバザーを行うにあたり、
教会側の協力を得るうえで保護者を対象に
教会活動を紹介するコーナーを設置したい
との打診あり。宣教活動の一環として受けと

めるべきなので、役員会が保護者会との連携を行う。また、これに伴い、全体的な教会活動の充実を図るためにデジタルカメラを購入した(このカメラの管理も役員会にて)。

(4) 敬老者への贈り物、連絡網について

・敬老者へのお祝いの品と手紙について。受け取った方の口から感謝の気持ちを伝えられることが多々あった。地区委員の皆さんには負担をかけてしまうが、引き続き、このような動きを続けていきたい。

・お祝いの品と手紙を受け取られたことへの感謝を伝えて下さった方のなかには、教会へ行きたいという意志を持っている方もいる。つながりが大切だと改めて感じた。その裏で、赤間地区はエリアが広く、それぞれの方とつながるためには時間も労力もいるのが現状。

・連絡網について。先日の台風14号の影響によって9/18(日)のミサを中止にした。連絡を回していただいたことに感謝(一部の方には連絡が行き届いていなかったが)。ほぼ、連絡網は正しく機能していると言える状況なので今後、努めて連絡網を更新していく。

・連絡を取りたい本人とのつながりも大事だが、今後はそれと同時に、本人と連絡が取れない場合に連絡のつくご家族の連絡先を知っておくことも大事。その意味でも、既存の連絡網にさらなる情報を追加しておく作業が必要。地区委員の皆さんに重ねて負担をかけることになるが、よろしくお願ひしたい。

(5) 街頭募金活動について

・12/11(日)、ミサ後に街頭募金を行うことにした。どこで行うか。また、久しぶりに行うため、街頭に立つことのできる顔ぶれも以前とは異なる可能性がある。どうするか。

・一連の統一教会についての話題と世間の反応を逆手に取って、カトリック教会のことを伝えるための良い機会にしたい(当日、パネルを準備して外部の方へ教会のことを伝えるようにする)。

(6)、ミサ後の掃除について

・ミサ後に地区別に割り振って掃除を行っているが課題や困ったことなどはないか(実際、掃除をしている顔ぶれは既に偏っている)。特に青年層(ベトナムの皆さんを含む)をどう巻き込んでいくかを考えるべき。



「ホームレス支援炊き出し」報告 2022年10月14日(金)

お弁当110食を手作りして、そのお弁当一つひとつにお手紙を添えて、NPO法人抱樸(ほうぼく)へ届けました。

お手伝いをいただいた方は、15名、

炊き出しのための100円募金は1,400円でした。

*衣類などの支援物資もNPO法人抱樸(ほうぼく)へ届けました。

皆様のご協力に感謝します。

<抱樸支援会>

当日の写真は8面に掲載しています。



★諸聖人の祭日★

日時：11月1日(火) 9時30分～

★死者の日ミサ★

日時：11月2日(水) 9時30分～

1回のみ 死者の追悼の祈り(ミサ)を行います。色紙や用意してある紙に亡くなられた祈願者の名前を書いて、箱の中に入れてください。

★特別献金★

9月25日 世界難民移住移動者の日
24,410円

10月23日 世界宣教の日
26,538円

ご協力、ありがとうございました。

★新しいミサの式次第のための研修会

日時：11月13日(日)ミサ後

新しいミサの式次第に変わる日(11月27日)がいよいよ目の前に近づいてきました。スムーズに新しい式次第に移行できるように、ぜひ参加して勉強しましょう。

★冠婚葬祭委員会よりお知らせ★

司会、オルガン奏者・募集しています。「やってもいいよ」「手伝っても」と思われる方がいましたら、委員長の松尾恵子さんか、谷口神父まで

★こころの会★

日時：11月27日(日) 10:40～

テーマ「世界遺産 長崎・天草キリシタン 不屈の物語」

7面より。(ホームレス支援炊き出しの風景。)

